

第6章 基本構想の推進のために

第4節 行財政運営

施策1 行政の効率化・高度化の推進

基本計画  
掲載頁 134～136

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	A I による音声テキスト化サービスの導入など、新たなデジタル技術の活用によるDXを推進し、業務の効率化を図ることができた。 デジタル完結が可能な行政手続はまだ少ないが、オンラインで申請できる手続数は増加し、市民の利便性は向上している。 先輩男性職員による子育てに関する座談会の開催などを通じ、男性職員の育児休業の取得は定着しつつある。時差出勤勤務の導入検討、在宅勤務手当の整備を実施し、職員が柔軟に働くことができる職場の環境づくりを進めることができた。
			課題	DXの推進による業務効率化及び市民サービス向上に、より一層取り組む必要がある。 （仮称）三軒屋公園等複合施設は、早期整備を目指し検討してきたが、より丁寧に市民の意見を伺いながら進めていく必要がある。
今後の 方向性	I	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	おおむね現状どおり継続する。 デジタル・デバイドの解消を図りながら、行政手続のオンライン化に取り組んでいく。 （仮称）三軒屋公園等複合施設については、市民説明会や関係団体との意見交換等を開催するなど、丁寧に市民の意見を伺いながら、整備を進める。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
男性職員の育児休業取得率	13.68%	69.23%					30%以上	A	人事課
財政調整基金の残高（通年）	39.4億円	42.8億円					35億円以上	B	財政課
市税収納率	97.80%	98.51%					98.70%	A	納税課
経常収支比率	96.10%	98.51%					95%未満	C	財政課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】 A：目標を上回るベースの指標値 B：目標値を達成するベースの指標値 C：やや遅れ気味

## 主な施策展開の進捗状況

(1) 行政経営の推進	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
基本計画に位置付けた施策を戦略的かつ効果的・効率的に展開していくため、取組の実績や進捗について適切に管理・評価しながら、状況に応じて予算へ反映させるなど、PDCAサイクルに基づいた行政運営を推進します。	B（おおむね順調）	総合計画、市デジタル田園都市総合戦略、行財政改革推進実施計画の進捗管理を効率的・効果的に行うため、外部委員で構成される政策評価委員会を設置した。また、次年度から始まる評価の手法を検討し、予定どおり評価体制の確立を行うことができた。	総合政策部	政策課
経営的な視点に立って事務事業の成果やコストを重視するとともに、市を取り巻く社会環境に対応する仕組みを整え、持続可能な行財政運営を推進します。	B（おおむね順調）	新座市行財政改革推進実施計画に基づき、持続可能な行財政運営を推進した。特に、「PDCAサイクルに基づいた行政運営の推進」及び「計画的な公共施設等の改修改築・統廃合・長寿命化等の推進」の2点を重点取組事項として取り組み、いずれも計画どおり実施できた。	総合政策部	政策課
(2) 職員の能力向上と組織の活性化	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
高度化・複雑化する行政課題に的確に対応できる職員を育成するため、人材育成基本方針に基づき、職員に対する能力開発や職員研修の充実を図ります。また、人事評価制度などを通じた人材マネジメントの最適化を図ります。	B（おおむね順調）	新座市職員研修規程に基づく集合研修、派遣研修、職場研修及び自主研修並びに実務研修及び新座市人材育成基本方針に基づく「にいざひとせみ」各種研修を実施した。人事評価制度については、評価者研修に参加するとともに、マニュアルを更新し全庁に通知することで周知した。また、（仮称）新座市職員資質向上プログラムの策定に向けて県内市から情報収集を行い、職員の資質向上に向けた取組を進めることができた。	総務部	人事課
計画的に人材を確保し、業務に応じた弾力的な業務執行体制を構築するとともに、テレワークの定着化など、ワークライフバランスに配慮し、多様な人材が活躍できる職場の環境づくりを進めます。	B（おおむね順調）	全庁で必要になる業務量の見通しを基に策定した新座市職員定員管理計画に基づき、4月1日に必要な人員を確保することができた。また、時差出勤勤務の導入検討、在宅勤務手当の整備を実施し、職員が柔軟に働くことができる職場の環境づくりを進めた。	総務部	人事課
市民ニーズや新たな行政課題に迅速かつ着実に対応するため、柔軟で機動的な組織体制を構築します。	B（おおむね順調）	業務量の増加に対応するため、障がい者福祉障がい者支援係を二つの係に分割する等既存の組織体制の見直しを行った。また、新たな行政課題に対応するため、ゼロカーボン推進室、物価高騰対策臨時給付金室を設置する等、組織体制を整備した。	総合政策部	政策課
(3) 民間活力の活用	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
複雑化する行政課題を効果的に解決していくため、公共性の確保に留意しながら、PPP・PFIの導入や業務のアウトソーシングなど、民間活力の活用を推進します。	B（おおむね順調）	（仮称）新座市三軒屋公園等複合施設基本計画の策定に当たり、複合施設の整備・運営・維持管理について、事業スキームとしてDBO方式やPFI（BT0）方式等の検討を行った。また、指定管理者制度について、放課後児童保育室及び市民会館の継続に向けた手続を進めるとともに、電子申請に対応するため、手続の見直しなどを行った。	総合政策部	政策課
(4) DXの推進による業務効率化とサービスの向上	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
最初から最後まで一貫してデジタルで完結することのできる行政手続オンライン化の拡大、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるようになるための情報格差解消の取組など、市民目線に立った利便性の向上につながるDXを推進します。	B（おおむね順調）	デジタル完結する行政手続はまだ少ないが、オンラインで申請できる手続数は増加し、市民の利便性は向上した。また、デジタル・デバイド対策（情報格差の解消）については、スマホ教室の開催、よろず相談窓口の実証実験等を行い、市民へのサポートを行った。	総務部	情報システム課（デジタル市役所推進室）
職員一人一人が、行政課題の解決に向けたDX推進の意義を共有し、AI等の先端技術を積極的に活用した業務改革に取り組むなど、市民サービス向上と業務の効率化を推進します。	B（おおむね順調）	市のDX推進の意義を理解し、更なる気運醸成及び推進体制の強化のため、DX研修を実施した。また、業務効率化を目的として、AI-OCR、RPA等の活用拡大を進めるとともに、AIによる音声テキスト化サービスの導入等の新たな取組を行った。	総務部	情報システム課（デジタル市役所推進室）
(5) 広域連携の推進	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
新座市域を含む圏域全体の発展に向けて、火葬場の設置検討など、スケールメリットが期待できる事業については、市域の枠を超えた広域的な連携を推進します。	B（おおむね順調）	朝霞地区4市共用火葬場設置検討のため、基本構想の策定作業を進めた。おおむね想定どおりの進捗となっており、令和6年度中に策定予定である。	総合政策部	政策課
(6) 公共施設等の適正な管理・整備	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課

第5次新座市総合計画前期基本計画 施策評価シート（対象：令和5年度実績）

○	<p>公共施設等を限られた財源の中で適切に維持管理するため、公共施設等総合管理計画に基づき、今後想定される人口減少を見据えた施設の総量の適正化を図るとともに、安全性の確保に向けた計画的な改修・改築を進めます。</p>	<p>B（おおむね順調）</p>	<p>総合管理計画を踏まえ、公共施設の安全性の確保に向けた適切な維持管理を進めつつ、同計画に基づく新座市公共施設個別施設計画について、第5次新座市総合計画との整合を図るため一部改訂を実施した。施設の総量の適正化については、公共施設の再配置に係る計画を策定し進めていく方針とし、同計画策定に向けての事務に着手した。</p>	<p>総合政策部</p>	<p>公共施設マネジメント課</p>
○	<p>多様化する市民ニーズに対応した魅力ある都市空間の創出を図るため、三軒屋公園及び東北コミュニティセンターの敷地を活用した新たな複合施設の整備を進めます。</p>	<p>C（やや遅れている）</p>	<p>当初は、令和6年度中に整備運営事業者を選定できるよう事務を進めることとしていたが、より丁寧に市民の意見を伺いながら進めていくこととしたため、時間を要することとなった。</p>	<p>総合政策部</p>	<p>（仮称）三軒屋公園等複合施設整備推進室</p>